

(第2号様式)

コザ 第2983号
令和6年3月15日

沖縄県教育委員会教育長 殿

沖縄県立コザ高等学校
校長 上江洲 隆
(公印省略)

令和5年度県立学校学校評議員の運営状況について(報告)

令和5年12月12日付け教県第1744号により依頼のありましたみだしについて、下記のとおり報告します。

記

1 日時、場所、出席状況等

回数	日時	場所	出席状況
第1回	令和5年7月18日 (火)17時～	コザ高等学校校長室	3名
第2回	令和5年12月22日 (金)16時～	コザ高等学校校長室	4名
第3回	令和6年3月14日 (木)16時～	コザ高等学校校長室	2名

2 学校評議員に求めた事項

- ① コザ高校に対する要望
- ② コザ高校に対する提言
- ③ コザ高校に対する評価

3 学校評議員の意見

- ① 高校で基礎学力を定着させ、大学以降の道を切り開いていけるよう指導して欲しい。
- ② 自分の目標達成に向け準備することが大事、しっかりと意思を持つ生徒をコザ高校で育てて欲しい。
- ③ コザ高校は生徒が落ち着き、生徒会活動が活発である。生徒が主体的に活動できるようにして欲しい。
- ④ 学校長と教職員が連携協力している雰囲気があり、今後も頑張ってもらいたい。
- ⑤ スクールミッションにも記載されているが、地域の拠点校として、さらに連携をして欲しい。
- ⑥ 入学時の成績が3年後にその成績変動が下がっていないのか懸念している。他校も同様のようである。
- ⑦ 部活では上位を目指す部と生涯スポーツを目指す部のギャップから生徒と指導者との衝突が生じてないか懸念している。
- ⑧ 生徒指導の対応がしっかりしており、学校が落ち着きがあるように感じるが、保護者からの苦情が心配。

4 学校運営に反映した事項

- ① コロナの5類への引下げ後、生徒は登校するも教室で授業等耐えきれず、保健室に行く事が多くなり、養護教諭や教育相談が生徒に寄り添い、関係者と連携し、適切に対応できた。
- ② 学校行事が平常に戻ったが、インフルエンザ流行に伴い、感染対策をしながら生徒が主体となって実施できた。
- ③ 関係職員と連携し、8時間自主学習などの実施により、生徒の学力の定着が図られた。
- ④ 生徒指導上で大きな指導次案が起こっていないため、保護者からのクレームは今のところない。生徒は指導に素直に聞き入れて、改善することができている。

5 課題その他

- ① コザ高校は組織のチームワークがとれており、今後生徒指導、進路指導が連携強化で飛躍が期待できる。
- ② 大学でも不本意入学があることから、高校在籍中から将来の進路を意識した指導をお願いしたい。